

山元町 かつせんはら合戦原遺跡 現地説明会について

山元町教育委員会生涯学習課

このことについて、現地説明会を下記により開催しますので、是非、ご来場ください。
記

1. 日 時 平成 27 年 3 月 8 日(日) 午後 1 時 30 分から
2. 会 場 合戦原遺跡発掘調査現場
山元町高瀬字合戦原 100 地内 (宮城病院敷地北側)別添地図参照
3. 調査主体 山元町教育委員会
4. 調査協力 宮城県教育委員会
5. 概 要

(1) 調査の理由

山元町教育委員会では、宮城病院地区の防災集団移転促進事業及び災害公営住宅建設事業に伴い、事業計画地内に所在する合戦原遺跡について、平成 26 年 9 月から本格的な発掘調査を実施しております。発掘調査の実施に当たっては、発掘調査基準を弾力的に運用しているほか、早期に調査が終了するよう、他県からの応援を得て調査体制を強化し対応しております。現在、発掘調査実施中ですが、その調査の一部の成果がまとまりましたので、現地説明会を開催いたします。

(2) 調査の成果

今回の調査では、古墳時代終末期から奈良時代にかけての横穴墓よこあなぼ約 50 基、古代の製鉄炉跡 1 基、木炭窯跡 7 基などが発見されました。特に、横穴墓の調査成果が注目されます。

横穴墓は玄室から墓道ぼどうが良好に残存しているものが多く、墓道から出土した土器などから当時の葬送儀礼を考える上で貴重な発見となっています。また、今回の調査範囲が横穴墓の分布範囲すべてを網羅する形となっており、横穴墓の支群構成を含めその全容を把握することができる重要な調査となっています。これまで横穴墓群の全範囲を調査する事例は県内でも少なく、約 50 基を一度に調査している点でも学術的に貴重といえます。横穴墓の被葬者はこの地域を治めた有力者やその集団であったと考えられます。横穴墓では土師器はじろぎ、須恵器すゑぎ、鉄製品てつせいひん(直刀ちきとう・蔵手刀くらてとう)、装飾品まがたま(勾玉くぐたま、管玉くだたま、切子玉きりこだま、ガラス玉など)など出土しており、土器類の中には東海地方から搬入されたものも含まれています。

この他、今回発見された製鉄炉跡と木炭窯跡については、製鉄関連遺構と考えられ、近年山元町内で発見されている新中永窪遺跡・犬塚遺跡などの製鉄遺跡群との関連が窺えます。

★問い合わせ 山元町教育委員会生涯学習課 TEL : 0223-37-5116

(発掘調査担当 : 生涯学習課 山田 現場携帯 080-2813-0862)